

# 部内スキルアップ研修報告「低風速型風力発電機」

システム情報技術系  
前田 義和

## 1. はじめに

工学系の技術職員にとっては、エネルギーに関わることは意義が深い。今回、再生可能エネルギーの中でも、20年も前から風力発電に注目され、モンゴルへ「明かり」を届けてこられた都城工業高等専門学校技術支援センター川崎敬一総括を招いての「低風速型風力発電機」の研修会を開催した。

## 2. 研修概要

期間：平成25年2月21日（木）～22日（金）

場所：工学系講義棟 111 教室

対象：風力発電やモンゴルに興味のある技術職員

受講者数：15名

講師：川崎敬一（都城工業高等専門学校 技術支援センター総括）

## 3. 研修内容

モンゴル型風力発電機の開発目的（軽量・コンパクト・分解組立が容易・メンテナンスフリー・環境を汚さない・低風速域からの発電可能であること）と、それを達成できた発電機の特徴についての説明・さらにモンゴル以外での発電機採用実績などの紹介の後、実機を使つての分解・組み立ての実習を行った。その後、モンゴルについての紹介と全体を通しての質疑応答がなされた。

## 4. 研修風景



## 5. おわりに

モンゴルの遊牧民である人々に長きにわたり風力発電機という、いろいろな意味での“ともしび”を贈ることを通して培われてこられた人と人、そして地域との交流のあり方、また、目的達成のための創意工夫など技術職員として得ることの多い研修となった。

研修をとおして、この発電機の根底には、地域環境・人々に対する優しさがあることをあらためて感じさせられた。